

第五回 山岡町

芸能文化発表会

日時 令和七年十二月七日(日)

場所 山岡農村環境改善センター

開演 十時三十分

【共催】

山岡地域自治区運営協議会
地域学校協働本部
山岡歌舞伎保存会
山岡青少年育成町民会議
市民三学山岡委員会
NPOまちづくり山岡
山岡コミュニティセンター

【協賛】

恵那市社会福祉協議会山岡支部
山岡町区長会
恵那南ライオンズクラブ

【後援】

恵那市
恵那市教育委員会
恵那市文化振興会

【発表会】

- 一、 山岡中学校生徒
- 二、 開会式
- 三、 山岡こども園児
- 四、 山岡小学校児童
- 五、 明智太鼓保存会
- 六、 ダンススクールLMD
- 七、 ゆきこま会
- 八、 白山比咩神社獅子舞保存会
- 九、 山岡歌舞伎保存会
- 十、 閉会式

【作品展】

- 山岡小学校 児童
山岡中学校 生徒
一般



ご挨拶

山岡地域自治区運営協議会
会長 渡邊 康正

皆さんと共に地域の芸能・文化を継承していく「第五回 山岡町芸能文化発表会」が開催されます。

ステージ発表では和太鼓、遊戯、演舞に加え、地域に根付いた獅子芝居や歌舞伎といった伝統芸能が披露されます。園児をはじめ、各世代の皆さんにご参加いただき、世代を超えた交流の場となります。また、作品展では書道、陶芸、吊るし雛、絵手紙など、日頃から取り組まれている力作が展示されます。多様な趣味を持ち、充実した余暇を過ごすことは、いきいきとした生活につながり、人生を豊かにします。さらに、そうした活動を通じて人との交流が生まれ、地域全体が元氣になります。

この発表会は、地域の皆さんが世代を超えてふれあう貴重な機会であり、子どもたちにとっては、地域の伝統を体験し、理解を深める大切な場でもあります。

今後もこの発表会が、地域の活力を育み、交流の場として発展していくことを心から願っております。

せきとりせんりょうのぼり いながわうちのだん

関取千両幟 稲川内の段

関取「稲川」 獅子女房「おとわ」との

心情を表現した獅子芝居

鶴屋の若旦那、礼三郎のひいき力士は「稲川」、悪侍九兵太のひいき力士は「鉄ヶ嶽」。この二人の力士は、いろいろな絡みがあつて仇同士（ライバル）となっています。

家に届けられた相撲番付表を見ると、何と今日の取り組みから「稲川」「鉄ヶ嶽」となっているのです。礼三郎のための「二百両」の算段に心を悩ましている「稲川」の顔は優れません。「稲川」は今日の取り組みで「二百両」のために「鉄ヶ嶽」に勝ちを譲ろうと考えているのです。

獅子「おとわ」は夫「稲川」を座らせて、心の中を察しながらその乱れ髪を、櫛ととのえるのです。

「向こう鏡の蓋とりて、写せば写る顔と顔」はこの外題の名場面です。

さて、この日関取稲川は女房「おとわ」と今生の別れをして土俵に向かいます。

その後、取り組みで「二百両」のために「鉄ヶ嶽」に勝ちを譲ろうとした時、「進上、二百両稲川へひいきより」という声がかかり、氣を取り戻した「稲川」は「鉄ヶ嶽」を土俵に叩き付け、勝ちをおさめます。

取り組み後、ひいきの乗った駕籠の垂れをめぐつてみると、そこには何と「二百両」で身を売った女房「おとわ」の姿があったのです。

千両幟「稲川」 配役			
	笛	西尾 綱由	
稲川	小木曾 幸広	太鼓	中嶋 務
獅子(おとわ)	西尾 伸康	〃	樋田 真也
唄	安藤 学哉	呼び出し	鈴木 研次
笛	安藤 孝光	獅子後持ち	三浦 和彦

下手向白山比咩神社獅子舞保存会

白山比咩神社獅子舞は、信州小諸城主の松平乗紀(のりただ)が岩村に転封されたときに、嫁獅子を導入しました。その子乗賢(のりかた)も父の遺志を継ぎ、より一層文教政策に力を入れました。嫁獅子による獅子舞が、乗賢が家督を継いだ享保(一七一七年)の頃からますます盛んになり、下手向白山比咩神社にも伝わり、「悪魔払い」「道行き」「宮入り」などの奉納獅子舞が定着したと言われています。

その後、大正十三年、岩村の三浦半佐が嫁獅子を主役にして歌舞伎のさわり場面上演するようになり、下手向でもこれを習って神社の祭礼に奉納するようになりました。「妹背山」「千両幟」「忠臣蔵七段目」などがあります。

獅子芝居は、長年青年団の間に受け継がれ継承されてきましたが、少子化の影響で後継者が減少してきたため、昭和六十年六月に保存会を設立、同年十月に旧山岡町の無形文化財に、平成二年には岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、青年団と協力して伝承に努めています。

かいけいおうぎそが つるがおかはちまんたいめんのは

会稽扇曾我 鶴ヶ丘八幡対面の場

日本三大仇討ちのひとつである「曾我兄弟の仇討ち」を歌舞伎にしたもの。通常は工藤祐経館の場で上演いたしますが、今日は鶴ヶ丘八幡へ工藤祐経が、朝比奈三郎の妹・舞鶴、大磯の虎御前、化粧坂の少将・こずえを伴い、参詣する設定です。

家来の近江小藤太を八幡三郎がそれを出迎え、舞鶴のとりなしで曾我十郎・五郎兄弟が登場し祐経と対面となります。

敵を目前に血氣にはやる弟、それを制する兄、祐経から盃を受けるが五郎は盃をたたき割る。二人に富士の巻狩りの役目を終えた後、討たれてやろうと本心を明かし、後日の再会を約束して幕となります。

この場をかりて口上もご覧ください。

会稽扇曾我 鶴ヶ丘八幡対面の場 配役

工藤祐経	後藤 琢磨	山岡中学校校長
曾我十郎	渡邊 康正	山岡地域自治区会長
曾我五郎	森下 史康	山岡歌舞伎保存会
舞鶴	原田 知咲季	山岡歌舞伎保存会
虎御前	西脇 美恵	上矢作歌舞伎保存会
小将	仁口 玲奈	山岡歌舞伎保存会
近江小藤太	船坂 昂輝	山岡警察官駐在所
八幡三郎	安藤 哲也	上矢作歌舞伎保存会
小姓	後藤 文馨	山岡小学校三年生
口上	水野 和一	山岡歌舞伎保存会



振付指導	松本 団女
下座	松本 奈津実
〃	松本 瑠奈
顔師	松本 宙士
〃	松本 茂み
〃	松本 匠平
床山	松本 真由美
着付け	三浦 恵美
〃	原田 ユカ
後見	山岡 歌舞伎保存会

和太鼓

山岡中学校

石山 承太郎

後藤 晴

鈴木 怜音

玉置 加菜恵

伊藤 壮亮

加藤 遼太郎

兼山 佑樹

近藤 里虹

原田 楓月

松村 怜奈

水野 杏乃

玉置 菜摘夢

長谷川 菜々

水野 綺人

渡邊 晴貴

